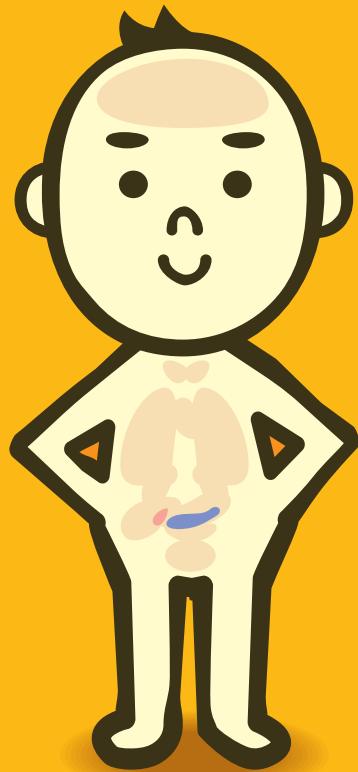


みんなの
臨床検査



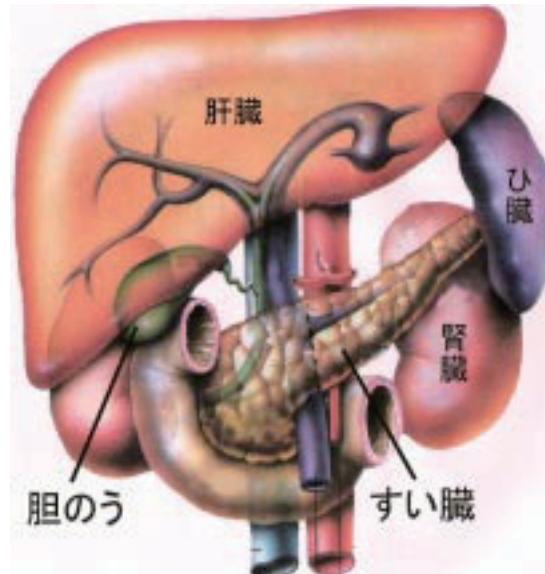
すい臓・胆のうの 検査

血液、尿などの臨床検査



臨床検査振興協議会
Japanese Promotion Council for Laboratory Testing

すい臓・胆のうの場所と働き



すい臓

体の正面から見ると胃の裏側にあります。横に長く15cmぐらいでやや平べったい形をしています。

働きは、たんぱく質やデンプン、脂肪を分解するすい液の他に、血糖値を調節するインスリンというホルモンを分泌しています。

胆のう



肝臓の下に張り付くようにしてある、小さなナス形のような臓器です。働きは、肝臓で作られた胆汁という脂肪の消化を助ける消化液を蓄え、必要なときに十二指腸に分泌しています。

すい臓と胆のうはそれぞれ異なった臓器ですが、密接な関係をもっています。たとえば、十二指腸に食物が入ってくると、胆のうに貯えていた胆汁と、すい臓から排出されたすい液が合流して十二指腸に分泌され、食物の消化・吸収の役に立ちます。

病気もこの2つの臓器が関連して生じることがあります。

すい臓の病気を疑うときの検査

疑う病気	主な検査	症状	原因
すい炎	血中アミラーゼの上昇 尿中アミラーゼの上昇	上腹部の強い痛み 吐き気、嘔吐など	アルコールの 多量摂取胆石など
すい癌	腫瘍マーカーの上昇※	初期は無症状	
糖尿病	血糖値,HbAicの上昇	パンフレット 糖尿病編 参照	

※すい癌を調べる腫瘍マーカーにはCA19-9、CA-50などがあります。ただし、これらは、他の消化器癌や良性疾患でも上昇します。



胆のうの病気を疑うときの検査

疑う病気	主な検査	症状	原因
胆石症	血中ビリルビンの上昇	上腹部・背部の 痛みなど	主に生活習慣
胆囊炎	超音波検査、内視鏡検査	右上腹部の痛み、 発熱など	胆管に胆石が蓄積

すい臓・胆のうの検査には、
血液・尿検査のほかに
超音波検査などの画像検査が
あります。



超音波検査に絶食が必要なのはナゼ?

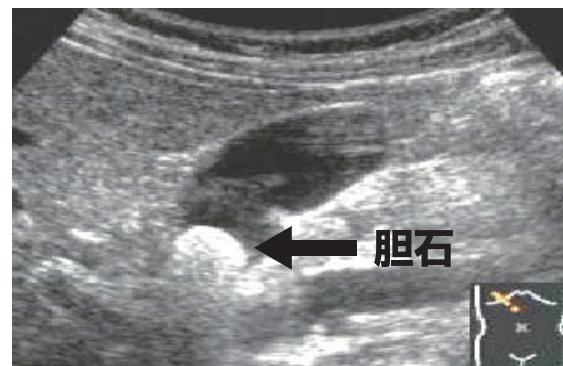
上腹部の超音波検査は絶食を必要とします。なぜなら、食事をすると胆のうは胆汁を分泌するため収縮し、胃をはじめとする消化管にガスが発生します。収縮した胆のうでは、胆のう内の結石が見つかりにくかったり、発生したガスによって、胃の裏側にあるすい臓などが、観察しにくくなったりするためです。



絶食を守り、
胆汁のたまつた状態で胆のうを見やすくしよう!!

胆石症を疑った場合、上腹部の超音波検査を行ない、胆石の有無や大きさ、数、さらに胆のうの状態を調べます。

[超音波画像] 胆石症



胆のうの中に見える、白いものが胆石です。

